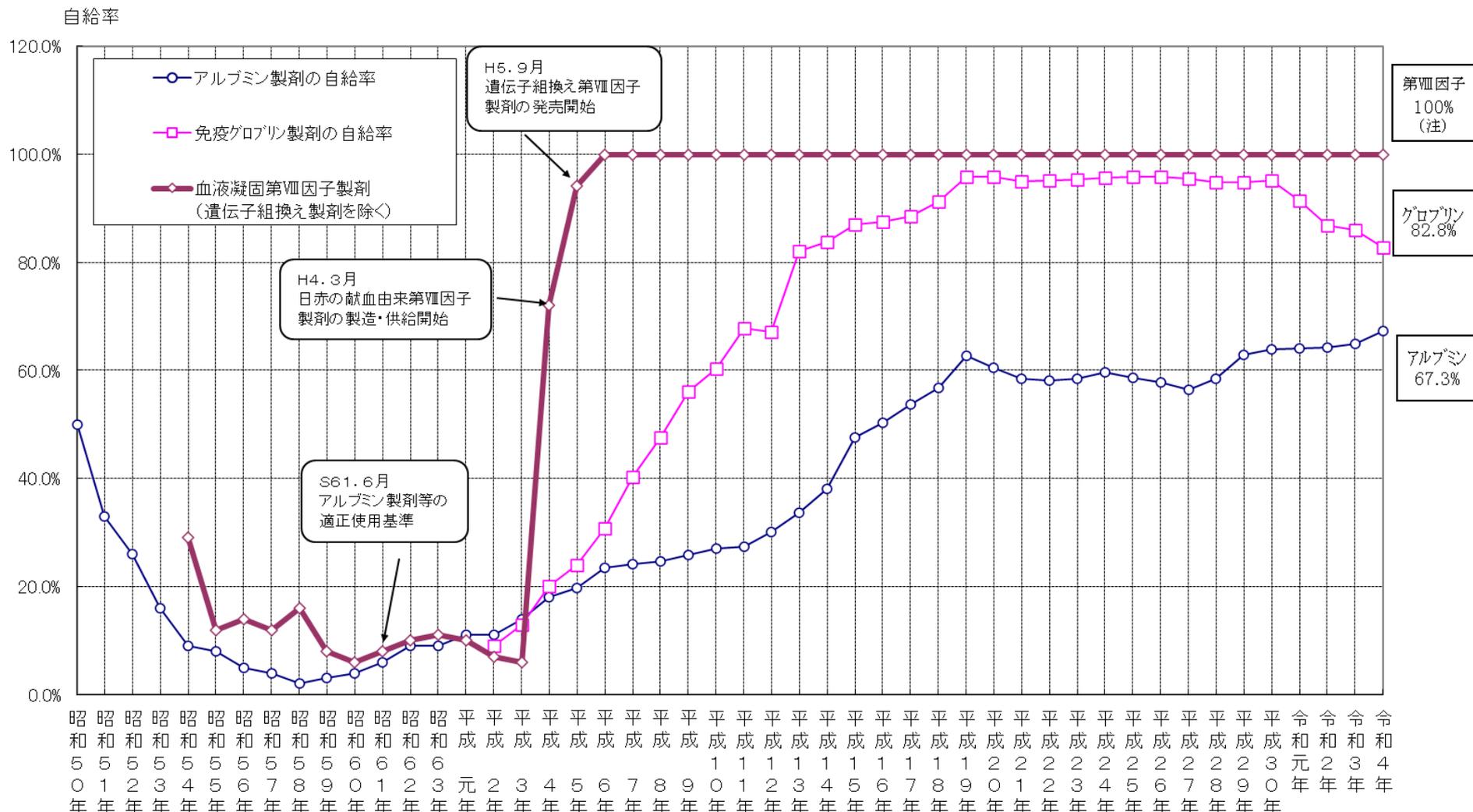


令和4年度の主要血液製剤の供給状況について(速報値)

血漿分画製剤の自給率の推移(供給量ベース)

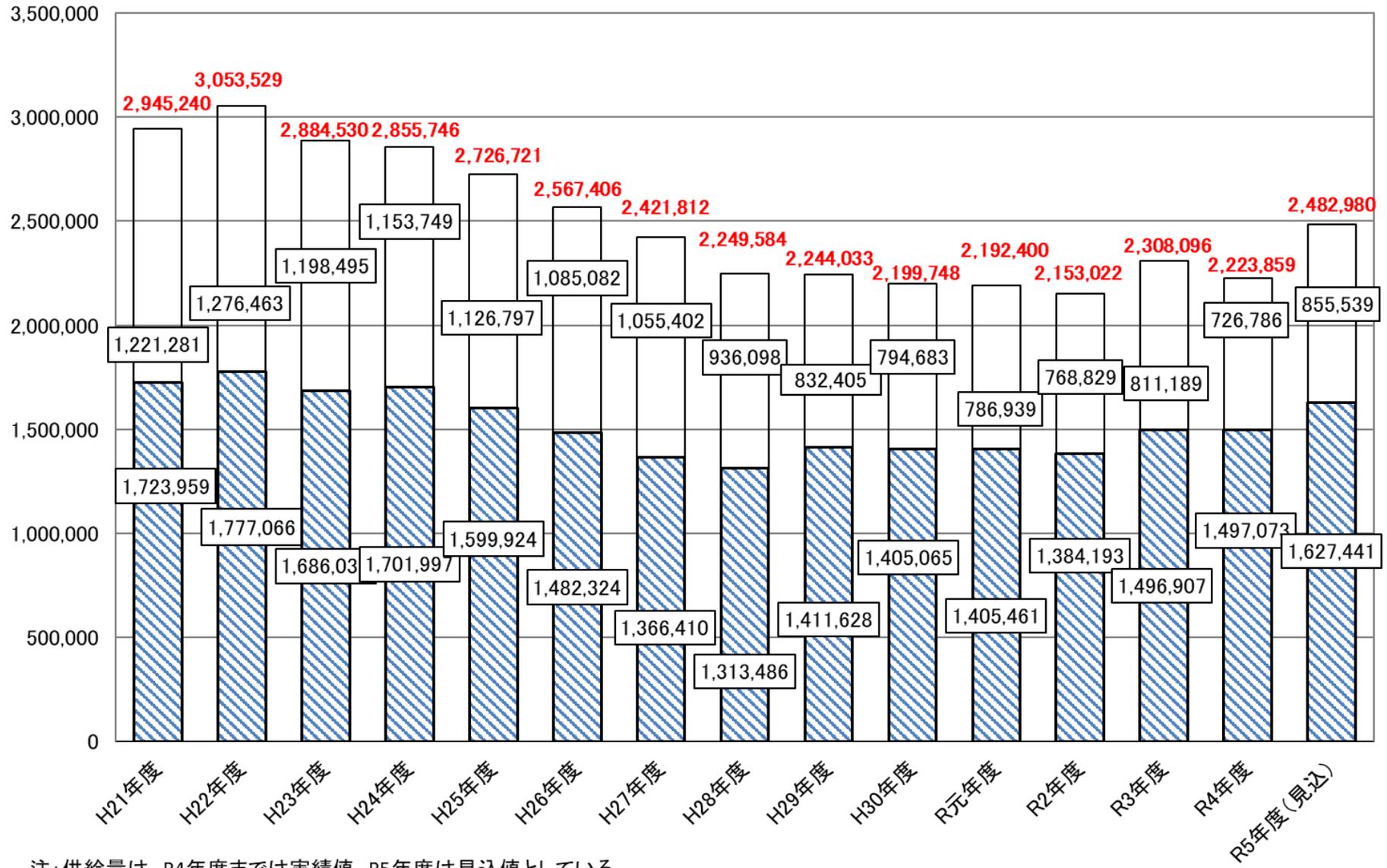


※ 平成9年以前は年次、平成10年以降は年度

注: 献血血液由来の血液凝固第Ⅷ因子製剤の自給率

アルブミン製剤の供給量の推移

単位: 本(25%50ml瓶換算)



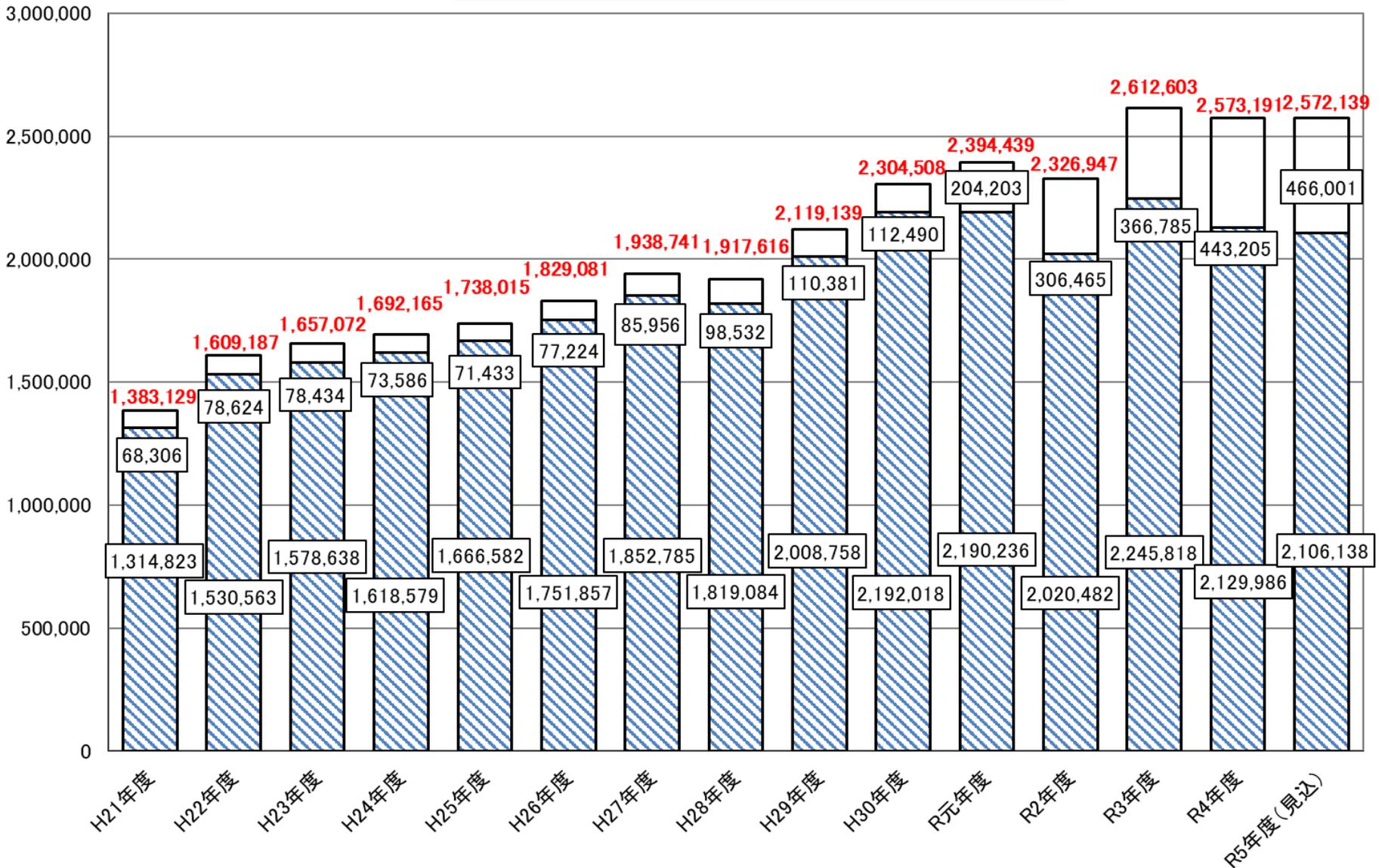
注: 供給量は、R4年度までは実績値、R5年度は見込値としている。

グロブリン製剤の供給量の推移

単位: 本(2.5g瓶換算)

国内血漿由来

輸入血漿由来

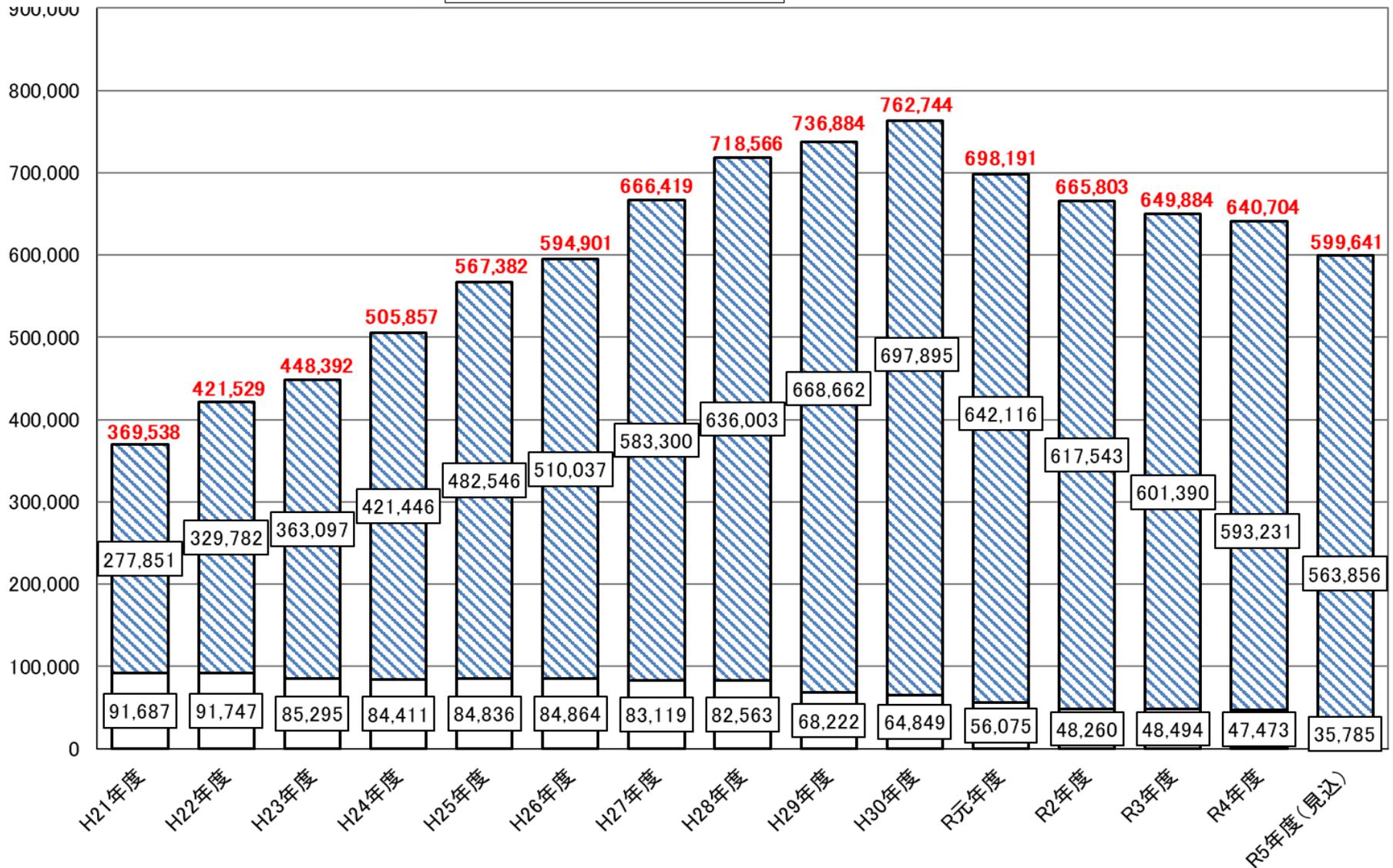


注: 供給量は、R4年度までは実績値、R5年度は見込値としている。

血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量(遺伝子組換え型含む)の推移

単位: 本(1000単位換算)

国内血漿由来 遺伝子組換え

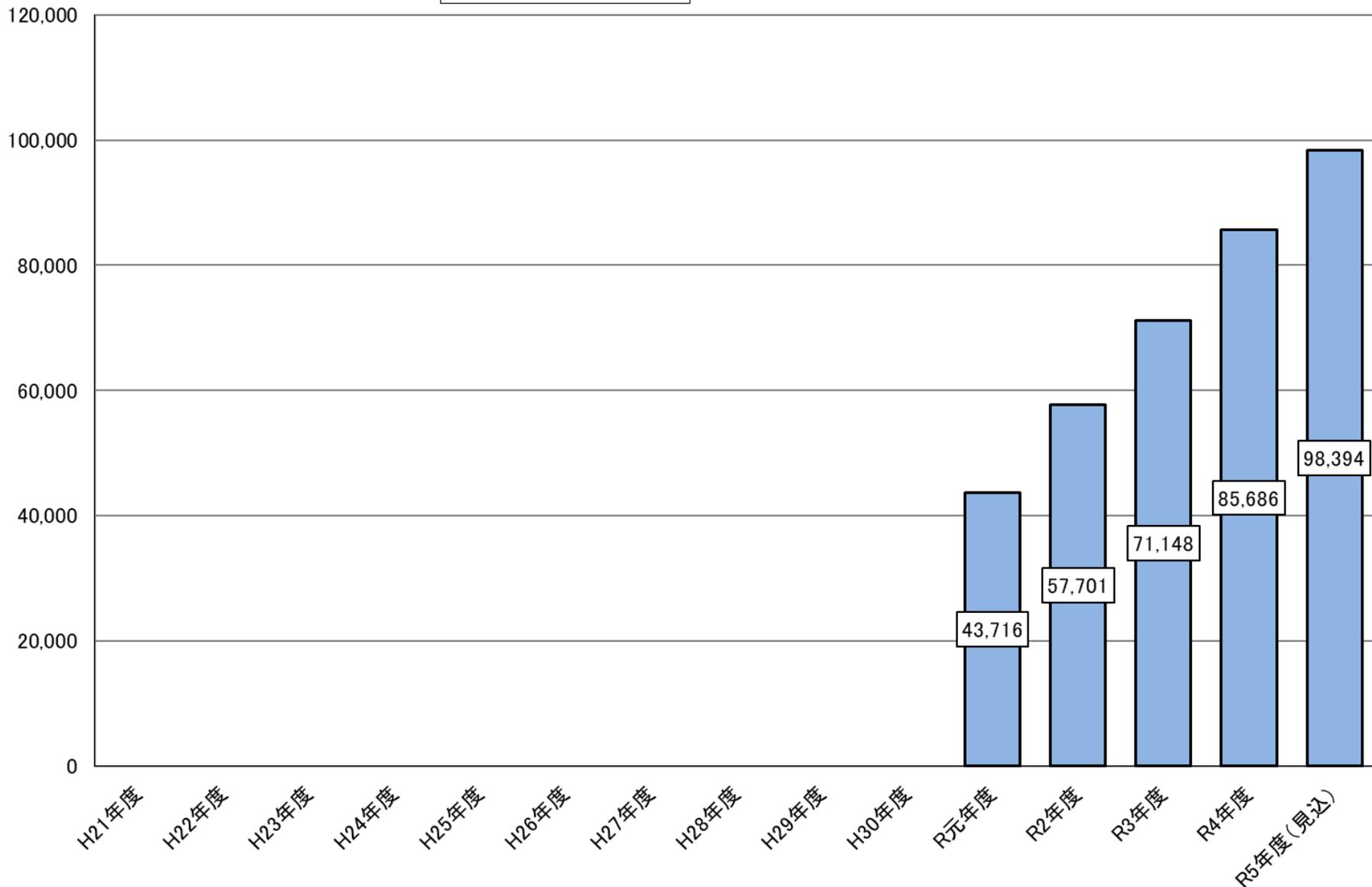


注: 供給量は、R4年度までは実績値、R5年度は見込値としている。

(参考) 血液凝固第Ⅷ因子機能代替製剤(抗体医薬品)の供給量の推移

単位: 本(延べ人数換算(人))

■ 遺伝子組換え



注1: 供給量は、R4年度までは実績値、R5年度は見込値としている。

注2: 令和元年度以降で集計

令和4年度の日本赤十字社の原料血漿確保状況等

[令和4年度]

- 確保量：目標 1 2 5. 3 万 L → 実績 1 2 5. 7 万 L
- 配分量：目標 1 2 2. 0 万 L → 実績 1 2 2. 0 万 L

[参考：令和5年度]

- 確保量：目標 1 2 0. 0 万 L
- 配分量：目標 1 2 0. 0 万 L